LG
Life's Good

取扱説明書

IPS LEDモニター

（LEDモニター*）

このたびはLG製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください

34UC89G

*LG の液晶モニターはLED バックライトを採用 した LCD 製品です。

www.lg.com/jp

Copyright © 2019 LG Electronics Inc. All Rights Reserved.

日本語

目次

ライセンス 3

組み立てと準備 4

- 同梱品 4
- サポートされているドライバーとソフトウェア 5
- 製品とボタンの説明 6

OSDジョイスティックの使用方法
入力コネクター

- モニターの持ち運び 8
- モニターの設置 10

スタンドの組み立て
テーブルへの設置
スタンドの高さの調整
角度の調整
ケーブルの整理方法
ケンジントン（Kensington）ロック
スタンド本体の取り外し
壁掛け金具を取り付ける
壁への取り付け

モニターの接続 20

- PCへの接続 20

HDMI接続
DisplayPort接続

- AV機器の接続 22

HDMI接続

- 周辺機器の接続 22

USBケーブル接続
ヘッドホンを接続する

- サービス専用USB端子 24

ユーザー設定 25

- メインメニューの表示 25

メインメニューの機能

- ユーザー設定 27

Menu設定
ゲーミングモード
ゲーム機能設定
画像調整
入力
全般

困ったとき 37

製品仕様 40

- 工場出荷時対応モード 42
- G-SYNCテクノロジについて 42
- 電源LED 43

ライセンス

サポートされているライセンスは、モデルによって異なる場合があります。ライセンスの詳細については、*www.lg.com/jp*を参照してください。

HDMIとHDMI High-Definition Multimedia Interface用語およびHDMIロゴは、米国およびその他の国々におけるHDMI Licensing, LLCの登録商標または商標です。

VESA、VESAロゴ、Display Portコンプライアンスロゴおよびデュアルモードソース用のDisplayPortコンプライアンスロゴは、Video Electronics Standards Associationの登録商標です。

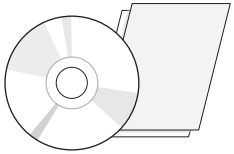
SuperSpeed USB Tridentロゴは、USB Implementers Forum, Incの登録商標です。

NVIDIA、NVIDIAロゴ、NVIDIA G-SYNCは米国とその他の国におけるNVIDIA Corporationの国における商標または登録商標です。

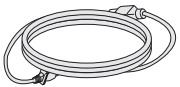
組み立てと準備

同梱品

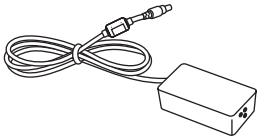
製品を使用する前に、すべての付属品が揃っているか確認してください。万が一、付属品が不足している場合は、製品を購入した販売店にお問い合わせください。
本取扱説明書は日本で発売する製品を前提に作成されています。日本以外でお求めの場合、製品型番、製品の仕様、付属品等が異なることがあります。



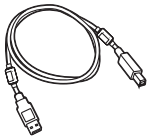
CD-ROM（取扱説明書/ソフトウェア/ガイド収録）/および各種カード



電源コード



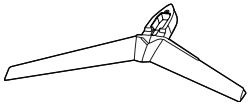
AC/DCアダプター



USB 3.0ケーブル



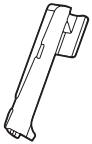
DisplayPortケーブル



スタンドベース



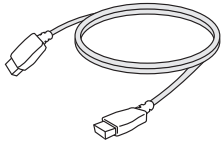
ケーブルホルダー



スタンドネック



マウスホルダー



HDMIケーブル

注意

- 製品を安全に長くお使いいただくため、正規の付属品以外のアクセサリは使用しないでください。
- 付属品以外の使用による破損やケガは、保証の対象外になります。
- 弊社推奨品以外の汎用ケーブルを使用すると、画面が映らなかったり画像にノイズが発生する場合があります。

ヒント

- イラストはイメージです。実際のものとは若干異なる場合があります。
- この取扱説明書に記載されているすべての情報および仕様は、製品品質向上の目的で事前の予告なしに変更されることがあります。

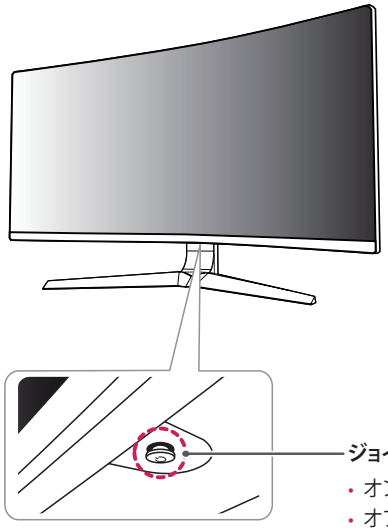
サポートされているドライバーとソフトウェア

お使いの製品がサポートしているドライバーとソフトウェアをご確認のうえ、製品パッケージに同梱のCD-ROMに収録されている取扱説明書を参照してください。

ドライバーとソフトウェア	インストールの優先順位	34UC89G
モニタードライバー	推奨	O
ASMドライバー	必須	X
OnScreen Control	推奨	O
Dual Controller	オプション	X
True Color Pro	オプション	X

- 必須 / 推奨：同梱の CD-ROM または LGE の Web サイト (*www.lg.com/jp*) から、最新バージョンをダウンロードしてインストールできます。
- オプション：LGEのWebサイト（*www.lg.com/jp*）から、最新バージョンをダウンロードしてインストールできます。

製品とボタンの説明



ジョイスティックボタン/電源LED

- オン：電源オン
- オフ：電源オフ

OSDジョイスティックの使用方法

OSDジョイスティックを指で押したり、左右に動かしたりすることで各種機能を簡単に操作できます。

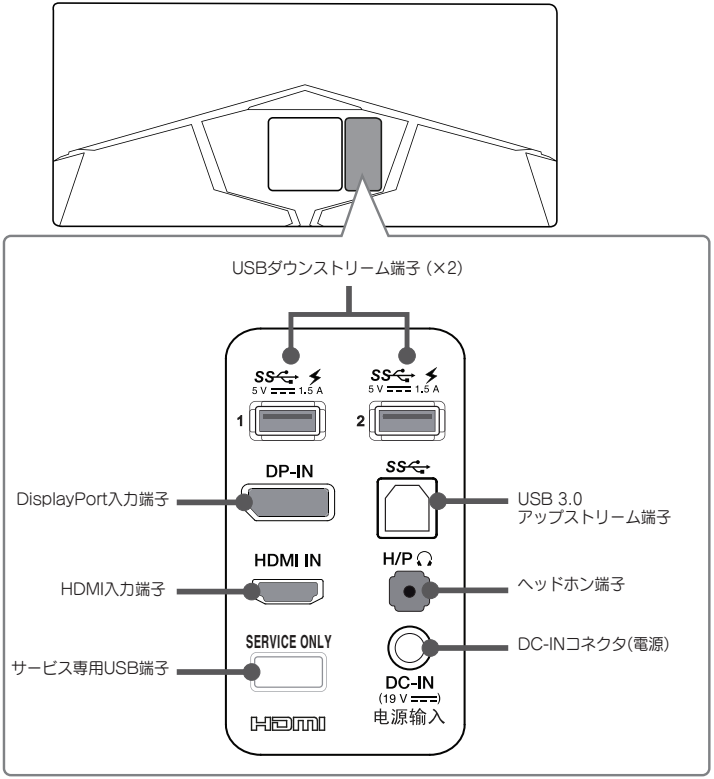
基本機能

		**電源オン**	OSDジョイスティックを指で押すと、モニターの電源がオンになります。
		**電源オフ**	OSDジョイスティックを指で押し続けると、モニターの電源がオフになります。
	◄/►	**音量コントロール**	OSDジョイスティックを左右に動かすことで音量を調整できます。

ヒント

- OSDジョイスティックはモニターの底面に付いています。

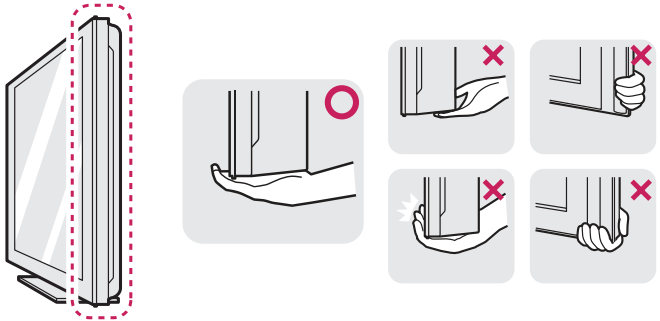
入力コネクター

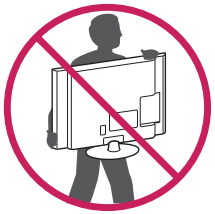

USBダウンストリーム端子 (×2)
5 V 1.5 A
1
2
DP-IN
DisplayPort入力端子
USB 3.0
アップストリーム端子
HDMI IN
HDMI入力端子
H/P
ヘッドホン端子
SERVICE ONLY
サービス専用USB端子
DC-INコネクタ(電源)
DC-IN
(19 V)
电源输入

モニターの持ち運び

モニターを持ち運ぶ場合は、モニターの損傷や破損を防いで安全に輸送できるように、形状やサイズに関係なく、次の取り扱い上の指示に従ってください。

- モニターを搬送するときは、元の梱包箱や梱包材でモニターを梱包してから運んでください。
- モニターを持ち運ぶ前に、電源コードおよびその他すべてのケーブルを取り外してください。
- モニターのフレームの側部および下部をしっかり持ち、液晶パネル(画面)には触れないようにしてください。





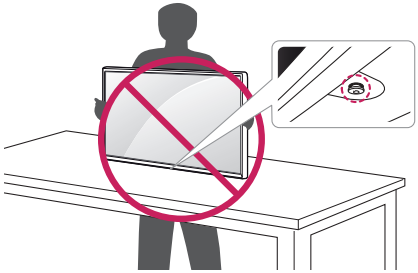
- モニターを持つ場合は、画面に傷が付かないように、画面を体の外側に向けてください。
- モニターを搬送する場合は、衝撃や激しい振動にさらさないでください。
- モニターを動かすときは、直立した状態を維持し、モニターを横に倒したり、左右に傾けたりしないでください。

注意

- モニター画面には触れないでください。
  - 画面に傷が付いたり、液晶が損傷する恐れがあります。



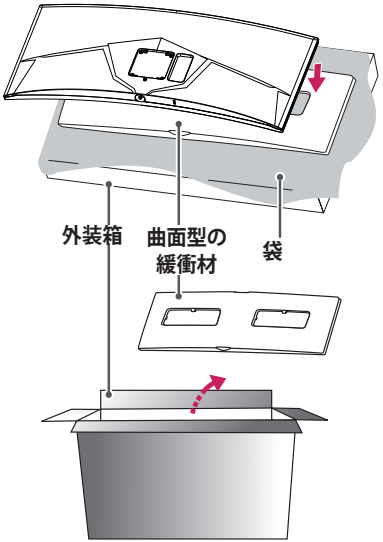
- モニターの底面には OSD ジョイスティックがあるため、スタンドを使用しないとモニターが倒れるおそれがあり、モニターの損傷またはケガの原因となります。また、OSD ジョイスティックが破損するおそれがあります。



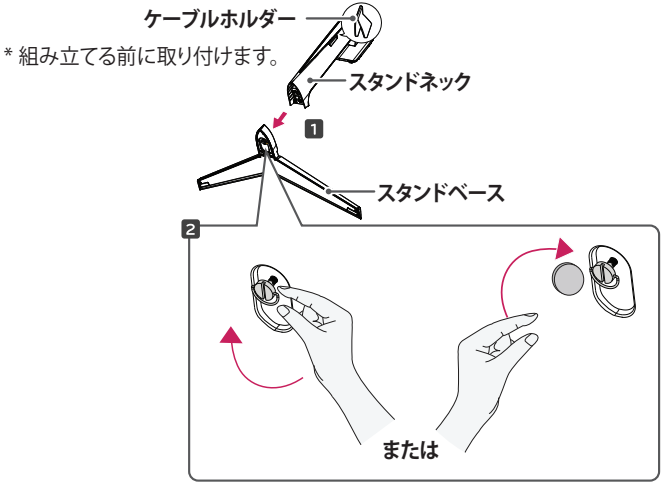
モニターの設置

スタンドの組み立て

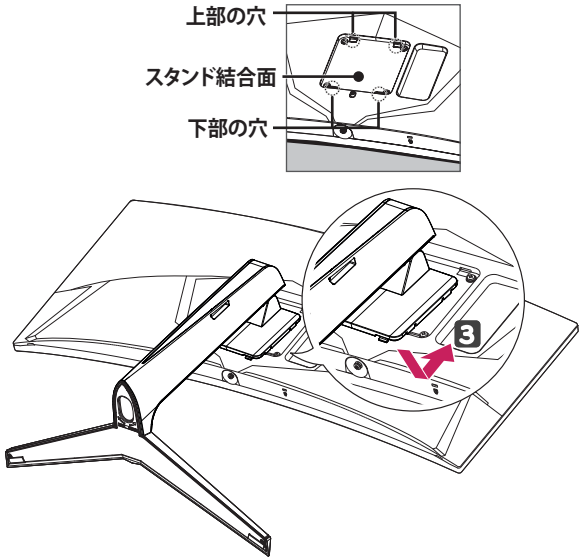
1 外装箱とモニターの梱包に使用されている袋、曲面型の緩衝材を下のイラストのように置き、その上にモニターを置きます。モニターは、画面を下に向けて緩衝材の上に置きます。



2 スタンドベース底面のネジをコインまたは手回しで締めて、スタンドベースを固定します。(電動ドライバーは使用しないでください)



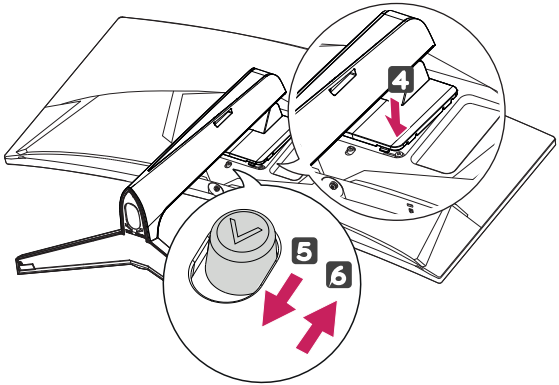
3 モニターにスタンドを取り付けます。下のイラストのように、まずスタンドを斜めに傾けて、スタンド結合面の上部の穴とスタンド上部のツメを合わます。



4 スタンド結合面上部の穴にスタンドのツメが入ったことを確認して、スタンドがモニターと平行になるようにして、スタンド結合面下部の穴に、スタンド下部のツメを合わせます。

5 下部のツメを入れる過程でスタンド結合面の下にあるボタンが一度下がります。

6 ツメがしっかりと入ると、ボタンが元の位置に戻ってスタンドが固定されます。

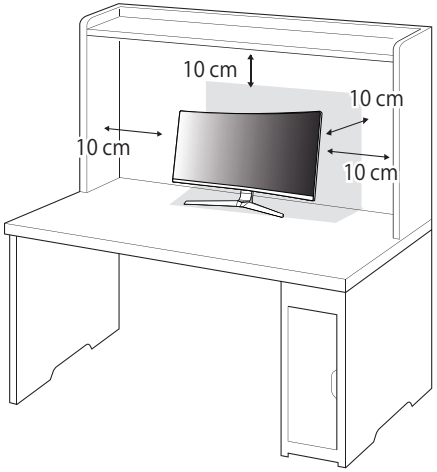


注意

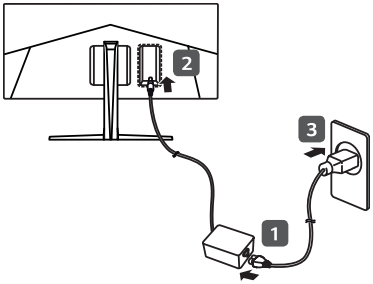
- モニターの組み立ての際は、製品の破損やケガに十分に注意して作業してください。
- 本書で使用されているイラストはイメージです。実際の製品とは若干異なる場合があります。
- 製品を組み立てる際、ネジに油や潤滑油などを使用しないでください。製品が故障する可能性があります。
- ネジを留めるときに過剰な力を加えると、モニターが損傷するおそれがあります。過度な締め付けによって、破損が生じた場合は保証の対象外になります。
- モニターを上下逆さにした状態でスタンドベースをつかんで持ち運ばないでください。モニターがスタンドから外れて落下し、モニターの損傷やケガをするおそれがあります。
- モニターを持ち運ぶ際は、モニター画面には触れないでください。液晶パネルが破損する場合があります。スタンドまたはフレーム部分をつかんでください。

テーブルへの設置

1 モニターのを持ち上げ、直立させた状態でテーブルに置きます。
十分な通気性を確保するため、背後および周囲10 cm 以上の空間を空けて設置してください。



2 最初に電源コードとAC/DCアダプターを接続し、モニター背面のDC-INにAC/DCアダプターの端子を接続します。最後に電源コードをコンセントに差し込みます。

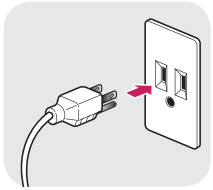


3 モニター本体下部のOSDジョイスティックを押して電源をオンにします。

⚠ 注意

- モニターの移動や設置は、電源コードを抜いてから行ってください。感電のおそれがあります。

電源コードの接続に関する注意事項

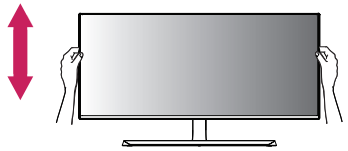


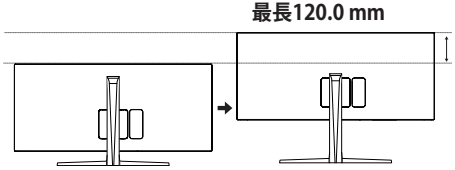
交流100 V

- 電源は、AC100V（50/60Hz）のコンセントを使用して下さい。指定以外の電源を使用すると火災の原因になることがあります。
- 製品パッケージ付属の電源コードを使用して、アース付きコンセントに接続してください。

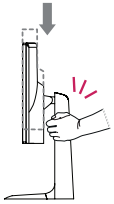
スタンドの高さの調整

1 スタンドベースに取り付けたモニターを直立させた状態にします。
2 モニターの左右背面側に手を添えて高さを調整します。(液晶パネルには触れないようにしてください。)





警告

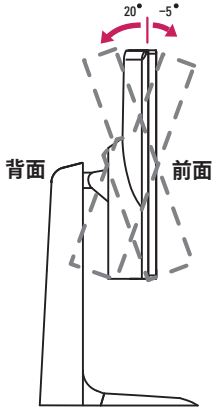


・画面の高さを調整するとき に、画面とスタンドベースの間に手を置くと、はさんでケガをするおそれがあります。スタンドベースの上に手を置かないようにしてください。

角度の調整

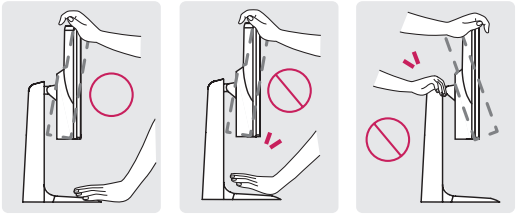
1 スタンドに取り付けたモニターを直立させた状態で設置します。
2 画面の角度を調整します。

画面の角度は、快適に見られるように-5°～20°の範囲で前後に調整できます。

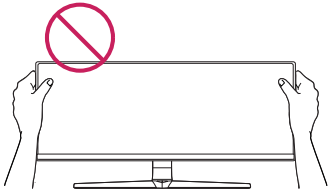


警告

- 画面を調整するときは、下の図のようにモニターのフレームの下部をつかまないでください。指をはさむおそれがあります。

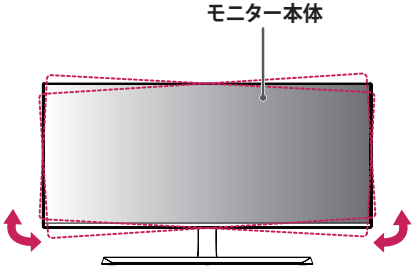


- 画面の角度を調整するときは、フレームを持って調整してください。画面のパネルには触れないようにしてください。



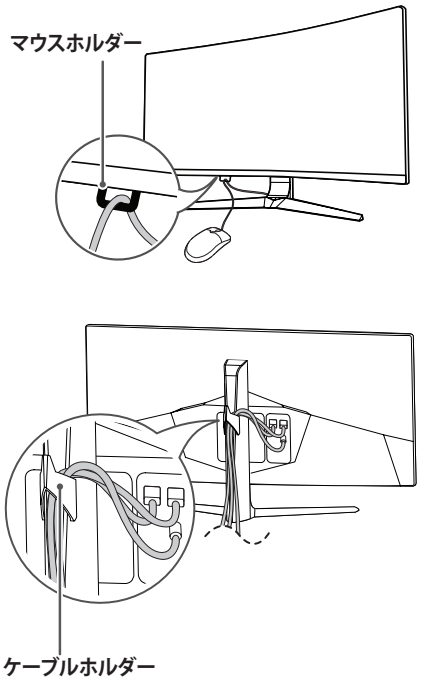
ヒント

- モニターヘッドの左側または右側に少し(3°まで)傾けることができます。画面が水平になるように調整します。



ケーブルの整理方法

イラストのようにケーブルホルダーで、ケーブル類をまとめることをお勧めします。

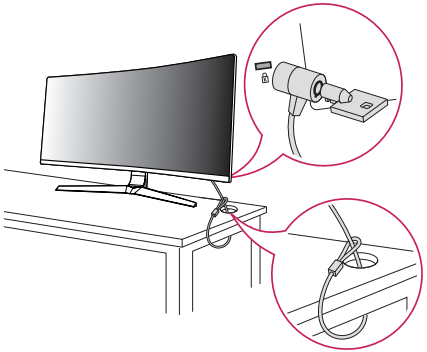


ケンジントン（Kensington）ロック

ケンジントンロック用のスロットは、モニターの底部にあります。

取り付けおよび使用方法については、ケンジントンロックの取扱説明書を参照するか、ケンジントン社のWebサイト（*http://www.kensington.com*）をご覧ください。

ケンジントンセキュリティーシステムケーブルを使用してモニターをテーブルに固定します。

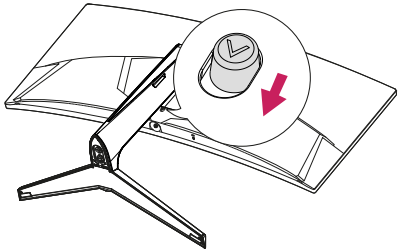


ヒント

- ケンジントン ロックの お求めは最寄りの PCショップや家電量販店にお問い合わせください。

スタンド本体の取り外し

1 モニターの画面を下に向けて置きます。画面に傷が付かないように、下に柔らかい布を敷いて作業してください。
2 モニター背面の底部中央にあるボタンを下に押して、モニターをスタンドから取り外します。



壁掛け金具を取り付ける

壁にモニターを取り付けるには、モニターの背面に壁掛け用金具（別売）を取り付けます。

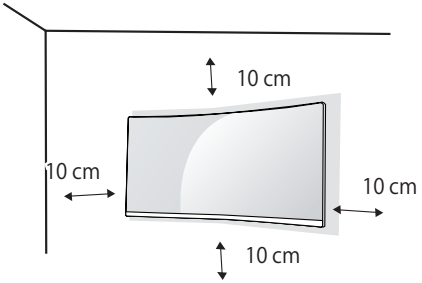
1 画面を下向きにして置きます。画面に傷が付かないように、下に柔らかい布を敷いてください。
2 モニターの背面に取り付けられている4本のネジを取り外します。
3 モニターの上に壁掛け用プレートを置き、ネジ穴を合わせます。
4 ネジ(4箇所)を時計回りに締めて、壁掛け金具をモニターの背面に固定します。

ヒント

- 壁掛け金具は別売りです。
- 詳細については、壁掛け金具付属の取扱説明書をご覧ください。また、取り付けに必要な部品は壁掛け金具に付属しています。
- 壁掛け金具を使用する際は、壁掛け金具に付属するもの、または、適合するネジを使用してください。
- ネジが標準の長さを超過する場合、モニターの内部が損傷する恐れがあります。

壁への取り付け

適切な通気性を確保するため、背後および周囲10 cm 以上の空間を空けて設置してください。設置に関しては、壁掛け金具のマニュアルを参照してください。



モニターを壁に取り付ける場合は、壁掛け金具(別売)をモニターの背面に取り付けます。
壁掛け金具がモニターおよび壁にしっかりと固定されていることを確認してください。

1 適合しないネジを使用すると、モニターの内部が損傷するおそれがあります。
2 VESA規格以外のネジを使用すると、モニターの破損や落下の原因になるおそれがあります。対象となるネジ以外を使用したことによる事故については、保証の対象外となります。

壁掛け(mm)	100 x 100
標準のネジ	M4 x L10
必要なネジの数	4

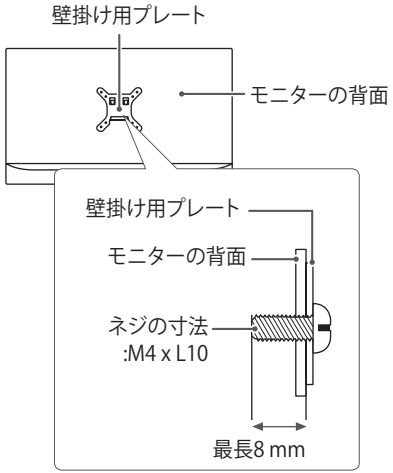
ヒント

- VESA規格で指定されているネジを使用します。
- 壁掛け用キットには、設置ガイドと必要な部品が含まれています。
- 壁掛け用ブラケットはオプション品です。オプションの付属品は、販売店で購入できます。
- ネジの長さは、壁掛け用ブラケットによって異なります。正しい長さのネジを使用してください。
- 詳細については、壁掛けに付属のガイドを参照してください。

注意

- 移動や設置は先に電源コードと信号ケーブルを外してから行ってください。ケーブルを取り外さずに移動、設置すると落下してケガや感電のおそれがあります。
- モニターは天井や傾斜面には取り付けないでください。落下して重大なケガをする恐れがあります。
- 壁掛け金具を使用する際は、壁掛け金具に付属するもの、または、適合するネジを使用してください。
- ネジが標準の長さを超過する場合、モニターの内部が損傷する恐れがあります。
- 正規品以外の壁掛け金具を使用したり、ネジの締め過ぎ等による損傷は保証の対象外となりますので注意してください。
- 取り付けの不備による製品の損傷または落下した場合は保証の対象外となりますので十分ご注意の上、作業してください。

- VESA規格に準拠した壁掛け用プレートとネジを使用してください。不適切な付属品の使用、または誤った使用方法による損傷の場合は、本製品の保証の対象外になります。
- 壁掛け用のネジ穴の深さは8mmです。



モニターの接続

- 本書で使用されるイラストはイメージです。実際の製品とは若干異なる場合があります。

OSDジョイスティックを押し、**[Menu]** → **[入力]**の順に選択し、映像が出力される機器に接続した端子を選択します。

注意

- 液晶パネルに触れないでください。映像が乱れることがあります。
- 映像の焼き付きを防ぐため、スクリーンセーバーなどを使用して、画面に同じ画像を長時間表示しないでください。

ヒント

- 電源コードをコンセントに接続する際には、アース付きマルチソケットまたはコンセントをご使用ください。
- 本機が冷えた状態で電源を入れると、画面にちらつきが発生する場合がありますが、これは正常な動作です。通電して温度が上昇すれば、正常な状態に戻ります。
- 画面に赤、緑、または青の点が表示されることがありますが、これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。

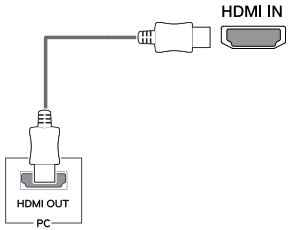
PCへの接続

- 本機は、プラグアンドプレイに対応しています。

* プラグアンドプレイ：PC に機器を接続して電源を入れると、設定や操作をしなくても、PC で認識してOS の標準ドライバがインストールされます。

HDMI接続

PCとモニターをHDMI 端子でデジタル接続します。下のイラストのように、PC とモニターをHDMI ケーブルで接続します。

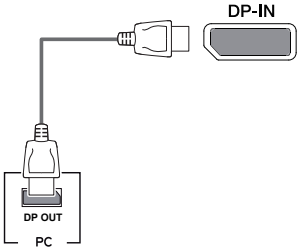


注意

- HDMI入力では、RGB 4:4:4形式のみサポートされています。YCbCrはサポートされていません。
- HDMI-DVIやHDMI-DisplayPortなどの変換ケーブルまたは変換コネクタを使用した場合、互換性の問題が発生する場合があります。
- HDMI ロゴの付いた規格が保証された HDMIケーブルをご使用ください。HDMI Licensing LLC で認証されていないHDMI ケーブルやハイスピードに対応してない標準HDMI ケーブルを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 推奨のHDMIケーブルのタイプ
  - ハイスピードHDMI®/™ケーブル
  - イーサネット対応ハイスピードHDMI®/™ケーブル

DisplayPort接続

PC とモニターをDisplayPort端子でデジタル接続します。下のイラストのように、PC とモニターをDisplayPort ケーブルで接続します。



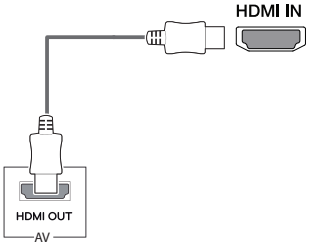
ヒント

- PCのDisplayPortのバージョンによっては、映像出力または音声出力に対応していないことがあります。
- 製品に付属のDisplayPortケーブルを使用していることを確認してください。それ以外のケーブルの使用は誤作動の原因になることがあります。
- LGが推奨していない汎用ケーブルを使用すると、画面が写らなかったり画像にノイズが発生したりする場合があります。
- グラフィックカードがMini DisplayPortの場合、別途DisplayPort-Mini DisplayPortケーブルまたは変換コネクタが必要です。ケーブルまたは変換コネクタはDisplayPort1.2に対応したものをお勧めします。

AV機器の接続

HDMI接続

AV 機器とモニターをHDMI 端子でデジタル接続します。下のイラストのように、PC とモニターをHDMI ケーブルで接続します。



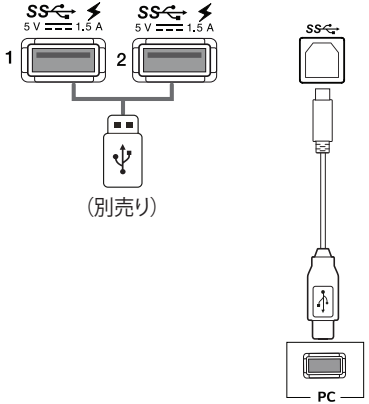
ヒント

- HDMI入力では、RGB 4:4:4形式のみサポートされています。YCbCrはサポートされていません。
- HDMI-DVIやHDMI-DisplayPortなどの変換ケーブルまたは変換コネクタを使用した場合、互換性の問題が発生する場合があります。
- HDMI ロゴの付いた規格が保証された HDMIケーブルをご使用ください。HDMI Licensing LLC で認証されていないHDMI ケーブルやハイスピードに対応してない標準HDMI ケーブルを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 推奨のHDMIケーブルのタイプ
  - ハイスピードHDMI®/™ケーブル
  - イーサネット対応ハイスピードHDMI®/™ケーブル

周辺機器の接続

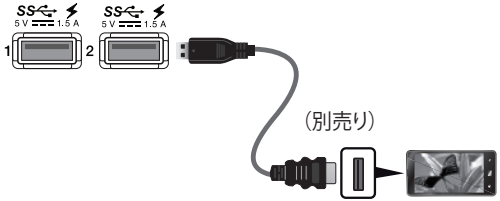
USBケーブル接続

製品のUSBポートは、USBハブとして機能します。
USB 3.0を使用する場合は、付属のUSBケーブル(A-Bタイプ)でモニターのUSBアップストリーム端子とPCとを接続します。
USB ダウンストリーム端子に接続された周辺機器をPCから操作できます



ヒント

- 使用する前に、PCに最新のWindows OSサービスパックがインストールされていることを確認してください。
- 周辺機器は別売りです。
- キーボード、マウス、USBデバイスをUSBダウンストリーム端子に接続できます。
- **[USBクイック充電]**はUSBダウンストリーム端子のUSB1、USB2で使用できます。
- モニターの電源がオフになると、**[USBクイック充電]**は利用できません。
- 充電速度はUSBデバイスによって異なります。



注意

USBデバイス使用時の注意事項

- 自動認識プログラムがインストールされているUSBデバイスや独自のドライバーを使用するUSBデバイスの場合、デバイスが認識されないことがあります。
- 一部のUSBデバイスは、サポートされていないか、正常に動作しないことがあります。
- 電源のあるUSBハブまたはハードディスクドライブを使用することをお勧めします（供給電力が十分でない場合、USBデバイスが正しく認識されないことがあります）。

ヘッドホンを接続する

ヘッドホン端子(ミニプラグ) に、ヘッドホン、イヤホン、スピーカーなどを接続できます。



ヒント

- 周辺機器は別売りです。
- オーディオ用ミニプラグの形状はストレートタイプのプラグの使用をお勧めします。L 字型になっているコネクタの場合、モニターに当たり差し込めなかったり、他の端子をふさいでしまう場合があります。



L 型タイプ　　ストレート タイプ

- PC および外部機器のオーディオ設定によっては、ヘッドホンおよびスピーカーの機能が制限されることがあります。

サービス専用USB端子

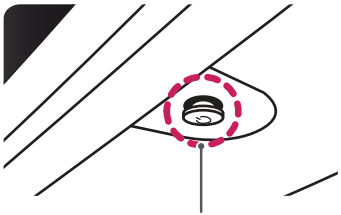
モニターのファームウェアを更新する場合に使用します。



ユーザー設定

メインメニューの表示

1 モニターの底面にあるOSDジョイスティックを押します。
2 OSDジョイスティックを前後(▲/▼)、左/右(◄/►)に倒して各種設定を行います。
3 OSDジョイスティックをもう一度押すとメインメニューが終了します。



OSDジョイスティック

ボタン	メニューの状態		説明
	メインメニュー非表示時		メインメニューを表示します。
	メインメニュー表示時		メインメニューを終了します。 (長押しするとモニターがオフになります。 OSDがオンの場合を含み、いつでもこの方法でモニターをオフにできます。)
	◄	メインメニュー非表示時	モニターの音量を調節します。
		メインメニュー表示時	**[入力]**機能に移動します。
	►	メインメニュー非表示時	モニターの音量を調節します。
		メインメニュー表示時	**[Menu]**機能に移動します。
	▲	メインメニュー非表示時	現在の入力に関する情報を表示します。
		メインメニュー表示時	モニターをオフにします。
	▼	メインメニュー非表示時	現在の入力に関する情報を表示します。
		メインメニュー表示時	**[ゲーミングモード]**機能に移動します。

メインメニューの機能



メインメニュー	説明
入力	表示させる入力端子を選択します。
電源オフ	モニターをオフにします。
Menu	設定メニューを表示します。
ゲーミングモード	ピクチャーモード をゲームモードに変更することができます。
閉じる	メインメニューを終了します。

ユーザー設定

Menu設定

1 メインメニューの表示は モニター底面にあるOSDジョイスティックを押します。
2 OSDジョイスティックを右 (►) に倒して、**[Menu]**を選択すると、OSDメニューが表示されます。
3 OSDジョイスティックを前後左右に倒して、カーソルを移動させて目的の設定項目を選択します。
4 目的の設定項目上でOSDジョイスティックを押すと設定項目の表示や決定ができます。
5 OSDメニューを終了させる場合は、OSDジョイスティックを左(◄)に数回(OSDメニューの階層によります)倒します。



ゲーミングモード



ゲーム機能設定



画像調整



入力



全般

Menu		説明
ゲーミングモード		ゲームのジャンルに合わせて適したピクチャーモードに変更できます。
ゲーム機能設定		**[Overclock]**、**[ブラックスタビライザー]**、**[応答速度]**、**[クロスヘア]**、**[ゲーム機能設定初期化]**を調整します。
画像調整		**[明るさ/コントラスト]**、**[ガンマ]**、**[色温度]**、**[R/G/B]**、**[ピクチャーモード初期化]**を調整します。
入力	**入力選択**	各入力端子を選択します。選択した端子の映像を画面に出力します。
	アスペクト比	画面の縦横比を調整します。
全般		**[言語]**、**[電源LED]**、**[自動スタンバイ]**、**[USBクイック充電]**、**[OSDロック]**、**[節電モード]**、**[表示情報]**、**[リセット]**を設定します。

注意

- 実際のモニターのOSD（オンスクリーンディスプレイ）は、本書の内容と異なる場合があります。

ゲーミングモード

1 OSD ジョイスティックを押して、ナビゲーションOSD を表示します。
2 OSD ジョイスティックを右(►) に倒してOSD メニューを表示します。
3 OSD ジョイスティックを押すか、右(►) に倒すと**[ゲーミングモード]** のメニューにカーソルが移動します。
4 設定したい項目をOSD ジョイスティックを前後(▲ / ▼) で選択します。
5 OSD ジョイスティックを押すか、右(►) に倒すと設定項目が表示されます。メニューアイコンに戻るときはOSD ジョイスティックを左(◄) に倒します。
6 OSD ジョイスティックを前後または左右に倒して設定を行います。



Menu > ゲーミングモード		説明
ゲーミングモード	**ゲーマー 1**	お好みの画質を保存、適用することができます。**[ゲーマー1]**または**[ゲーマー2]**を選択後**[ゲーム機能設定]**、**[画質調整]**を行います。設定された内容はそれぞれを選択すれば適用されます。
	ゲーマー 2	
	FPS 1	FPS(First Person Shooting) ゲームに最適化されたモードです。
	FPS 2	ブラックスタビライザーの値が**[FPS1]**より強く設定されています。暗い映像のFPSゲームに最適化されたモードです。
	RTS	RTS(Real Time Strategy) ゲームに最適化されたモードです。
	ブルーライト低減モード	画面表示を紙のような質感で表示するモードです。より明るく見やすい画質にしたい場合には、OSD メニューで**[明るさ]**の調節ができます。

ゲーム機能設定

1 OSD ジョイスティックを押して、ナビゲーションOSD を表示します。
2 OSD ジョイスティックを右(►) に倒してOSD メニューを表示します。
3 OSD ジョイスティックを前後(▲ / ▼) に倒して、**[ゲーム機能設定]** を選択します。
4 OSD ジョイスティックを押すか、右(►) に倒すと**[ゲーム機能設定]** のメニューにカーソルが移動します。
5 設定したい項目をOSD ジョイスティックを前後(▲ / ▼) で選択します。
6 OSD ジョイスティックを押すか、右(►) に倒すと設定項目が表示されます。メニューアイコンに戻るときはOSD ジョイスティックを左(◄) に倒します。
7 OSD ジョイスティックを前後または左右に倒して設定を行います。



Menu > ゲーム機能設定		説明	
ゲーム機能設定	Overclock	オン	パネルの基本仕様(144Hz)よりも高いリフレッシュレートに設定します。
		オフ	**[Overclock]**をオフにします。
		ヒント • 設定をオンにした場合は、モニター再起動後に、NVIDIAコントロールパネルでリフレッシュレートの設定を変更します。 • 画面が正常に表示されない場合は、**[Overclock]**の設定をオフにしてください。 • 本機能はDisplayPort接続時のみ設定可能です。 • **[Overclock]**機能の機能や性能は、グラフィックカードやゲームコンテンツによって異なります。 また、この機能は弊社が動作を保証する機能ではありません。オーバークロックは自己責任のもと行ってください。万が一有効にすることで生じた不具合等に関しては保証の対象外となります。	
	ブラック スタビライザー	見えづらい画面の暗い部分を明るく表示し、視認性を高めます。 **[High]**/**[Middle]**/**[Low]**/**[オフ]**の4段階で選択できます。 **[High]**に設定すると、暗い部分が見えやすくなります。**[Middle]**、**[Low]**に設定するに従い、明暗の差が大きくなり鮮明な画像表示になります。	

<table>
<tr><td rowspan="7">ゲーム機能設定</td><td rowspan="6">応答速度</td><td colspan="2">パネルスペックの応答速度から、オーバードライブ回路で応答速度を高速化させます。
標準的な環境の場合、[普通]を使用することをお勧めします。
動きの速い映像の場合、[速い]を使用することをお勧めします。
[速い]に設定すると、残像（オーバーシュート）が発生することがあります。その場合は、表示ソースに合わせて適切な速度に設定してください。</td></tr>
<tr><td>速い</td><td>液晶パネルの応答速度が高速になります。</td></tr>
<tr><td>普通</td><td>液晶パネルの応答速度が中程度高速になります。</td></tr>
<tr><td>遅い</td><td>液晶パネルの応答速度が少し高速になります。</td></tr>
<tr><td>オフ</td><td>オーバードライブをオフにして、パネルの基本速度になります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ヒント
• [Overclock]機能有効時は、DisplayPort入力の際は[応答速度]メニューが無効になります。</td></tr>
<tr><td>クロスヘア</td><td colspan="2">FPS(First Person Shooting) ゲームのプレイ用に、画面中央にクロスヘア(十字マーク) を表示します。クロスヘアはゲームタイトルに応じて適したデザインを4 種類から選択できます。
• モニターがオフまたは省電力モードになると、クロスヘア機能は自動的にオフになります。</td></tr>
<tr><td>ゲーム機能設定
初期化</td><td colspan="2">[ゲーム機能設定]の設定値を初期設定(工場出荷時の設定)に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期化されますので、ご注意ください。</td></tr>
</table>

画像調整

1 OSD ジョイスティックを押して、ナビゲーションOSD を表示します。
2 OSD ジョイスティックを右(►) に倒してOSD メニューを表示します。
3 OSD ジョイスティックを前後(▲ / ▼) に倒して、**[画像調整]** を選択します。
4 OSD ジョイスティックを押すか、右(►) に倒すと**[画像調整]** のメニューにカーソルが移動します。
5 設定したい項目をOSD ジョイスティックを前後(▲ / ▼) で選択します。
6 OSD ジョイスティックを押すか、右(►) に倒すと設定項目が表示されます。メニューアイコンに戻るときはOSD ジョイスティックを左(◄) に倒します。
7 OSD ジョイスティックを前後または左右に倒して設定を行います。



Menu > 画像調整		説明	
画像調整	**明るさ/コントラスト**	画面のカラーコントラストと明るさを調整します。	
	ガンマ	ガンマのユーザー設定:**[モード 1]**、**[モード 2]**、**[モード 3]**。 ガンマ値を補正します。**[モード1]** に設定すると中間色が明るく、**[モード3]** に設定すると中間色を暗く表示します。標準値は**[モード2]** です。	
	色温度	**ユーザー設定**	R/G/Bで設定したお好みの画質を表示します。
		Warm[暖色]	画面の色温度を暖色系（より赤い）に設定します。
		Medium[中間]	画面の色温度を中間に設定します。
		Cool[寒色]	画面の色温度を寒色系（より青い）に設定します。
	R/G/B	R(赤)G(緑)B(青) 各色の強弱を手動で設定します。	
	ピクチャーモード初期化	**[画像調整]**の設定値を初期設定(工場出荷時の設定)に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期化されますので、ご注意ください。	

入力

1 OSD ジョイスティックを押して、ナビゲーションOSD を表示します。
2 OSD ジョイスティックを右(►) に倒してOSD メニューを表示します。
3 OSD ジョイスティックを前後(▲ / ▼) に倒して、**[入力]** を選択します。
4 OSD ジョイスティックを押すか、右(►) に倒すと**[入力]** のメニューにカーソルが移動します。
5 設定したい項目をOSD ジョイスティックを前後(▲ / ▼) に倒して選択します。
6 OSD ジョイスティックを押すか、右(►) に倒すと設定項目が表示されます。メニューアイコンに戻るときはOSD ジョイスティックを左(◄) に倒します。
7 OSD ジョイスティックを前後または左右に倒して設定を行います。



Menu > 入力		説明	
入力	**入力選択**	各入力端子を選択します。選択した端子の映像を画面に出力します。	
	アスペクト比	画面の縦横比を調整します。	
		全画面	映像信号の入力に関係なく、画面全体に表示します。
		オリジナル	映像ソースのアスペクト比を保持して画面最大に表示します。
		1:1	映像ソースの解像度で表示します。
		ヒント • 本機の推奨解像度(2560 x 1080)で表示している場合は、**[全画面]**、**[オリジナル]**、**[1:1]** を設定 していて も、表示される映像は変わりません。	

全般

1 OSD ジョイスティックを押して、ナビゲーションOSD を表示します。
2 OSD ジョイスティックを右(►) に倒してOSD メニューを表示します。
3 OSD ジョイスティックを前後(▲ / ▼) に倒して、**[全般]** を選択します。
4 OSD ジョイスティックを押すか、右(►) に倒すと**[全般]** のメニューにカーソルが移動します。
5 設定したい項目をOSD ジョイスティックを前後(▲ / ▼) に倒して選択します。
6 OSD ジョイスティックを押すか、右(►) に倒すと設定項目が表示されます。メニューアイコンに戻るときはOSD ジョイスティックを左(◄) に倒します。
7 OSD ジョイスティックを前後または左右に倒して設定を行います。



Menu > 全般		説明	
全般	言語	OSD メニューなど、画面に表示される言語を選択します。	
	電源LED	OSD ジョイスティック上の電源LEDのオン / オフを切り替えます。	
		オン	電源LEDが自動でオンになります。
		オフ	電源LEDをオフにします。
	自動スタンバイ	一定時間、表示されている映像に変化がない場合に自動的にモニターの画面をオフにする機能です。自動で画面がオフになるまでの時間を設定します。(**[オフ]**、**[4時間後]**、**[6時間後]**、**[8時間後]**)	
	USBクイック充電	**[USBクイック充電]**は、USB 3.0ポートに接続されているデバイスをすばやく充電する機能です。	
		オン	**[USBクイック充電]**を有効にします。
		オフ	**[USBクイック充電]**を無効にします。
		ヒント • 充電速度はデバイスに応じて異なります。	
	OSDロック	OSD の設定可能な項目を制限します。	
		オン	**[OSDロック]**を有効にします。
		オフ	**[OSDロック]**を無効にします。
		ヒント • 設定可能な項目を制限します。**[オン]**にしても設定が可能な項目は以下の通りです。 - **[画像調整]** > **[明るさ/コントラスト]** - **[入力]** - **[全般]** > **[OSDロック]**/**[表示情報]** 上記以外の項目を設定するときは、**[OSDロック]** をオフにしてください。	
	節電モード	一定時間映像信号検出できない場合、モニターをオフにします。	
		オン	**[節電モード]**を有効にします。
		オフ	**[節電モード]**を無効にします。
	表示情報	解像度、リフレッシュレート、または最大リフレッシュレート、モード、入力元に関するディスプレイ情報が表示されます。	
	リセット	初期設定(工場出荷時の設定) に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期状態になりますので、ご注意ください。	

困ったとき

画面に何も表示されない	
画面に何も映らない	• 電源コードがコンセントに正しく接続されているかを確認してください。 • モニターの電源ボタンを押してモニターの電源が入っているかを確認してください。
電源をオンにして、電源ランプが点灯しているのに画面が映らない	• 接続機器が黒画面を出力している可能性があります。接続機器が正常に動作しているかを確認してください。
電源ランプが点滅している	• PC がスリープモードになっている可能性があります。マウスを動かすか、キーボードのいずれかのキーを押して、PC の省電力モードを解除させてください。 • PC の電源が入っているか確認してください。
画面に**[推奨解像度での表示をおすすめします。映像がちらついたり、画面が正常に表示されない場合は、取扱説明書の「困ったとき」を確認してください。]**と表示される	• PC（グラフィック カード）から伝送された信号が、モニターの水平周波数または垂直周波数の範囲から外れている場合に表示されます。 • 本取扱説明書の「製品仕様」を参照して、OS 上で適切な周波数または、解像度に設定してください。 • 変更方法は次ページのヒントを参照してください。
画面に**[信号が見つかりません。]**と表示される	• 信号ケーブルが接続されていないときに表示されます。PC またはモニターに正しくケーブルが接続されているかを確認してください。 • 入力端子が正しく選択されていない可能性があります。OSDジョイスティックを押してから左に倒して**[入力]**を選択して映像が出力されている端子になっているかを確認してください。
OS上でモニターがうまく認識しない	• 本製品付属のCD-ROMに収録されているディスプレイドライバーがインストールされていることを確認します。ドライバーは、弊社Webサイト（*http://www.lg.com/jp*）からダウンロードすることもできます。 • グラフィックカードがプラグアンドプレイに対応しているか確認してください。

一部のOSDメニューの設定ができない	
OSD で設定できない項目がある	• OSDがロックされています。**[Menu]** > **[全般]**の順に選択し、**[OSDロック]**を**[オフ]**に設定します。

画面に残像が生じる	
モニターの電源を切っても残像が見える	• 静止画映像を長時間表示すると、画面が損傷して残像が生じることがあります。 • モニターの映像がを長時間使用する場合は、OS でスクリーンセーバーを設定して、長時間同じ画像、映像を映さないようにしてください。

画面表示が安定せずに揺れる。ゴーストが表示される	
画面がちらつく	• 選択した解像度がHDMI 1080i 60/50 Hz（インターレース）の場合、画面がちらつくことがあります。解像度を1080pまたは推奨解像度に変更してください。

ヒント

- **垂直周波数**：映像を表示するために、モニターは毎秒数十回画面を表示しなおします。1 秒間で画面が切り替わる回数を「垂直周波数」または「リフレッシュ レート」と呼びます。単位はHz です。
- **水平周波数**：横線1本を表示するためにかかる時間を「水平サイクル」と呼びます。1秒間で表示される横線の数は、1を水平サイクルで除算することにより計算できます。これを水平周波数と呼びます。単位はkHzです。
- OS(オペレーティングシステム)上で、グラフィックカードの解像度または周波数がモニターの許容範囲内かを確認し、推奨される(最適な)解像度に設定してください。
  解像度：以下の順に選択し、メニュー内の**解像度**を変更します。
  - Windows 7：[コントロールパネル] >[画像の解像度の設定]
  - Windows 10：[設定]>[システム]>[ディスプレイ]>[ディスプレイの詳細設定]

  垂直周波数：以下の順に選択し、メニュー内の**画面のリフレッシュレート**を変更します。
  - Windows 7：[コントロールパネル] >[画像の解像度の設定]>[詳細設定]>[モニター]タブ
  - Windows 10 ：[設定]>[システム]>[ディスプレイ]>[ディスプレイの詳細設定]>[アダプターのプロパティを表示]>[モニター]タブ

  *選択手順はOSのバージョンによって異なる場合があります。
- グラフィックカードを推奨される（最適な）解像度に設定しないと、文字がぼやけたり、画面がかすれたり、表示画像が表示領域からはみ出したり、表示位置がずれたりすることがあります。
- 調整の手順は、お使いのPCまたはOSによって異なる場合があります。また、グラフィックカードによっては、解像度がサポートされていない場合があります。この場合は、PCまたはグラフィックカードの製造元にお問い合わせください。
- PCやグラフィックカードによっては、解像度 2560 x 1080 をサポートしていない場合があります。この解像度を表示できない場合は、グラフィックカードのデバイスドライバを最新に更新するか、グラフィックカードの取扱説明書やホームページで解像度の対応状況を確認するか、PCまたはグラフィックカードメーカーにお問い合わせください。

画面の色が正常ではない	
色が正常に表示されない	• 信号ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。 • グラフィックカードがスロットに正しく挿入されていることを確認してく ださい。 ※ グラフィックカードの確認をする際は必ずPC の電源をコンセントから抜いて確認してください。 • **[コントロールパネル]** > **[画面]** > **[設定]** (OS によって異なりま す)から、OS 上の表示色を24bit または32bit のTrue Color に設定してください。
画面上に小さな点が表示される	• 液晶パネルは高精度な技術で作られており、画面の一部にドット抜け (ごく 小さな黒い点や赤、青、緑などの点) が見える ことがあります。これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。

音声が出力されない	
ヘッドホン端子に接続した音声機器から音声が出力されない（音が聞こえない）	• OSD ジョイスティックで音量を確認し、調整してください。 • PC のオーディオの出力先を、使用中のモニターに設定します。Microsoft Windows で **[コントロールパネル]** > **[ハードウェアとサ ウンド]** > **[サウンド]** の順に選択して、モニターを既定のデバイス として設定します。 • ヘッドホン端子に外部音声出力機器が正常に接続されていることを確認してください。 • WindowsやPC の再生ソフトウェアの音量レベルを確認してくださ い。 • 変換コネクタでPCのDVI端子と接続している場合は、DVI端子が音声信号の伝送に対応していないため、音声は出力できません。

製品仕様

LCD画面	タイプ		TFT（Thin Film Transistor） LCD（Liquid Crystal Display）画面	
	カラー階調		HDMI	8ビットカラーがサポートされています。
			DP（DisplayPort）	8ビットカラーがサポートされています。
	ピクセルピッチ		0.312 mm x 0.310 mm	
解像度	最大解像度		2560 x 1080 @ 60 Hz（HDMI） 2560 x 1080 @ 144 Hz（DP） 2560 x 1080 @ 166 Hz（DP）（Overclock有効時）**	
	推奨解像度		2560 x 1080 @ 60 Hz	
走査周波数	HDMI	水平走査周波	30 kHz～140 kHz	
		垂直走査周波	24 Hz～60 Hz	
	DP	水平走査周波	66 kHz～166 kHz	
		垂直走査周波	30 Hz～144 Hz	
	DP (Overclock)	水平走査周波	66 kHz～194 kHz	
		垂直走査周波	30 Hz～166 Hz	
入力コネクター	H/P, DP (DisplayPort) IN, USB (SS, ⚡) 1/2, HDMI IN, USB UP (SS)			
電源	電源定格		19 V ⎓ 4.0 A	
	消費電力		動作モード：80 W (最大)* スリープモード：≤ 0.5 W (節電モード有効時) オフモード：≤ 0.3 W (節電モード有効時)	

AC/DCアダプター	ADS-110CL-19-3 190110G、Honor製 出力：19 V ⎓ 5.79 A		
環境条件	動作条件	温度	0～40 °C
		湿度	80%未満
	保管条件	温度	-20～60 °C
		湿度	85 %未満
寸法	モニターサイズ（幅 x 高さ x 奥行）		
	スタンド装着時	819.9 x 565.3 x 279.7（mm）	
	スタンドなし	819.9 x 364.5 x 87（mm）	
重量（パッケージを除く）	スタンド装着時	8.3 kg	
	スタンドなし	6.1 kg	

仕様は製品の品質向上のため、予告なく変更されることがあります。
*オンモードの電力消費は、LGE 試験規格（最大解像度で、白を画面全体に出力した状態）で測定されます。
*消費電力は操作条件や設定等によって変わります。

** **[Overclock]**機能の機能や性能は、グラフィックカードやゲームコンテンツによって異なります。
また、この機能は弊社が動作を保証する機能ではありません。オーバークロックは自己責任のもと行ってください。万が一有効にすることで生じた不具合等に関しては保証の対象外となります。

工場出荷時対応モード

（プリセットモード、HDMI/DisplayPort PC）

プリセットモード	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	極性（H/V）	備考
640 x 480	31.469	59.94	-/-	HDMI/ DisplayPort
800 x 600	37.879	60.317	+/+	HDMI/ DisplayPort
1024 x 768	48.363	60.0	-/-	HDMI/ DisplayPort
2560 x 1080	66.64	59.98	+/-	HDMI/ DisplayPort
2560 x 1080	95.50	84.96	+/-	DisplayPort
2560 x 1080	113.24	99.94	+/-	DisplayPort
2560 x 1080	137.22	119.95	+/-	DisplayPort
2560 x 1080	166.54	143.94	+/-	DisplayPort
2560 x 1080	194.21	165.99	+/-	DisplayPort (Overclock)

G-SYNCテクノロジについて

- このモニターはG-SYNCテクノロジに対応しています。G-SYNC機能を使用するにはNVIDIA社製の対応のGPUを搭載したPCまたはグラフィックカードが必要です。
- G-SYNCのシステム要件
  - インターフェイス：DisplayPort1.2
  - PCおよびグラフィックカード：NVIDIA社製G-SYNC対応GPUを搭載したPCまたはグラフィックカード
  - グラフィックドライバ：最新のデバイスドライバをNVIDIA社のホームページよりダウンロードしてください。
- 詳細についてはNVIDIA社の公式サイトをご覧ください。
  http://www.nvidia.co.jp/object/g-sync-monitor-technology-jp.html

電源LED

モード	LEDの色
オンモード	白(数秒間)
スリープモード	オフ
オフモード	オフ



このデバイスはすべての地域で使用できます。取扱説明書（CD-ROM）をよく読み、必要な際に参照できるよう保管しておいてください。製品に貼付けられたラベルには、技術サポート情報が記載されています。

モデル _____

製造番号 _____